

会報 あさかの



ひらけ 未来へこおりやま

発行

郡山市あさかの
学園大学学生会
《発行責任者》
学生会会長 仲野 寛
《編集責任者》
会報編集委員長 國分 尚美
《印刷》(株)土屋印刷所

企業や学校、行政などの37団体、約2600人参加! あさかの学園大学223名が集結した華麗な踊り!

「第60回 うねめまつり踊り流し」



「うねめ踊り流し」を 終えて



うねめ踊り実行委員長
牛来 紀子

5月からの準備に、一緒に頑張ってくれた実行委員の皆さん、学生会会長、各委員長、前実行委員長、たくさんの方々の先輩たち、豆絞り作りやうちわ作り、祭り後の清掃、そして踊りに参加して下さった223名の学生の皆さん、本当に有難うございました。右往左往している委員長に、鼓舞激励し続けてくれた事に心から感謝申し上げます。個人賞3名の方々、踊りを引張って下さって有難うございます。無冠に終わってしまい、悔しさは残りますが、来年頑張ります。暑い夏が終わりました。皆さんお疲れ様!



ねじり鉢巻き他、楽しい準備風景!



藤蔭先生! ご指導ありがとうございます。



いっぱい練習しました!
今年のうちわは黄色!



個人賞3名の方々! おめでとうございます♪



研修2
相馬 武さん

1C
菅野 久子さん

研修1
荒井 賢治さん



笑顔がいいで賞?? 会報編集委員が勝手に選出!



皆様！お疲れ様です。



第60回 郡山うねめまつり実行委員会(郡山商工会議所)主催

事後清掃ボランティア

令和6年8月4日(日)5時45分集合!早起しました!
学生会担当が環境ボランティアからうねめ実行委員会へ変わりました。
参加者合計45名!たくさんの方々にご協力頂きありがとうございます。



研修1・2



専門1・2



教養1・2

豊かな出会いの場

郡山市あさかの学園大学

学長 富田 孝志



郡山市西部体育館、澁刺と競技に熱中する皆さん、今日は運動会。多くのことが脳裏を過ぎる。学生の皆さんは人

生を様々な生き抜いて来た。

時間的に余裕が生まれ、さらに豊かな生き方をしたいと入学された。前歴不問、皆同じだ。

郡山市は今年市制施行100周年、あさかの学園大は37周年になる。元々高齢者が生きがいを持って社会参加出来るよう全国の市町村で始められた事業なのだが、本学園のように長く続いて学生数が多いのは全国でも希だ。長く続いた背景には発足時の郡山市の確かな計画、その後の確実な財政支援、教育課程の精緻さ、多岐にわたる講義、講師の皆様が学生の学びに真摯に伝えてくださること、歴代学生の皆さんが学生会を中心に事務局と力を合わせ、学園をより良くしようと努められたことが上げられる。長く続くと多くは形骸化し衰退しがちだ。あさかの学園大では関係者がその意義を認めそれぞれに努力し、新風が取り込まれ代謝が図られて来た。だからここコロナ禍にもめげず今好循環が生まれ、同好の士が集まる豊かな出会いの場となっている。なるほど！競技は既に二種目に入っていた。

距離のない世界

郡山市あさかの学園大学

副学長 内藤 清吾



今世界は距離の概念が薄れつつあることご存じですか？大陸を越えて飛ぶマイルが原因ではありませんが、インターネットが世界の距離を縮めているのです。

以前の世界は掲示板で「引用は短く」「画像は圧縮して」送るのがネチズン（ネットに常駐して指導するヘビーユーザー）の基本でした。それだけ回線が遅かったのです。遅れを取っていた日本の通信事情が光ファイバーで一気になりました。通信速度が6桁ほど違うので動画をネット配信しても画像・音声とも品質が変わらないのです。

サーバーを介したストリーミングサービスを手始めに新しいサービスが次々と生まれます。個人で動画配信できるYouTubeは地方のイベントや観光案内のツールになろうとしています。そして一番の変化はクラウドでしょう。家庭のWiFiは高速のインターネットはストリーミング不要の世界を実現しようとしているのです。データをクラウドに置けば本体を入れ替えるのは簡単ですから。

世界に分散しながら高速回線で距離を無くしたクラウドサービス。使わない手はありませんよ。

市長訪問

市長が望む市の未来☆私たちができること！

専門1年 芸術・文化 國分 尚美

7月1日月曜日、あさかの学園大学理事会を代表して、新役員の仲野会長、田辺総務理事、豆腐谷会計理事、大野副会長、遠藤副会長、そして、私の6名で毎年恒例でもある市長訪問に行ってきました。

品川市長はいつも一貫して以下の2点をおっしゃいます。

①高齢者もスマホを習得して。

- 市役所の各種手続きをスマホ一つで行えるようにしたい。

→私たちにできること：スマホは、生活を便利にする道具。安全に徐々に使いこなしていきましょう。

②深刻な少子化問題

- 子どもが二十歳になるまで、無事にこの地で育てほしい。

→私たちにできること：子ども食堂や幼稚園、保育所のお手伝い。地域の交通安全の見守り等

市長は御年80歳！お忙しいご公務を毎日こなしていらっしゃいます。

私たち高齢者も伸び代は、まだまだあるのです。新しいことにチャレンジし、地域のボランティアに参加し、適度な運動をしましょう。健康寿命を延ばし、社会貢献につながるように。👍



クラス紹介

専門二年 健康・福祉

杉本 ゆかり

「37の人生に4Aあり」

37人（男性18人女性19人）のクラスです。入学時健康福祉を学びとする縁あって仲間となり、はや最終学年となりました。我クラスは何事にも時間をかけて完結する長期熟成型、焦らずじっくりです。学校行事、学級活動等ご多分に漏れずですが全てが「終わり良ければよし」の結果になります。また私達には「思いやりと皆仲良く」の言葉があり、お互いの個性を認め合い協力し合いながら今は気心の知れた居心地のいいクラスになってきました。更に今年度は全員参加で「風通しの良いクラス運営」と学生生活最終年を「楽しく思い出に残る一年に！」をクラスのスローガンとし卒業記念企画実行委員会も立ち上げました。

卒業時には全員揃って「終わり良ければすべてよし」とクラスの熟成完結を目指します。



専門二年 郷土・生活

田辺 新太郎

私のクラスは比較的、少人数です。今年の運動会を連勝しようと、意気込んでいましたが、残念でした。しかし全員参加出来たのは良かったと思います。

昨年からのクラス独自の行事を計画・立案するために各班から一人、全六人で構成する会を設け実行していることですが、例えば、グラウンド・ゴルフが挙げられます。

今年も引き続き例会を行い、楽しい時間を共有すること

が出来、本当に良い事と思います。

参加者は全員とはいきませんが、

三分の程度

の人員で楽しんで

今年

最後の年

で、全員和気あいいい



専門二年 芸術・文化

熊田 礼子

芸術・文化は結果じゃない!!

私たちの学級はクラス担当の鈴木先生のご指導のもと、芸術・文化を主に学んでいます。学級委員長の仲野さん、副委員長の鈴木さん・大原さんをはじめ、皆さんそれぞれの役員として活躍されています。去年の文化祭では意見を出し合いTシャツや鉢巻きを揃え、振り付けを練習して応援団のステージを盛り上げました。今年の運動会こそはと奮起しましたが、残念ながら最下位に終わってしまいました。自由で穏やかな気風が出てしまったのでしょうか。

このクラス

で過ごす

最終学年

ですが、これ

からも素敵

な皆さんと

一緒に学園



2024 運動会

令和6年6月27日、今年もあさかの学園大学運動会が開催されました。
 今年は初めての西部体育館、新鮮な雰囲気の中、例年同様、競技も応援も白熱し、活気溢れる大会となりました!!

出番ですよ!!

青春ふたたび

運動会実行委員長
 専門2年郷土・生活

大下 誠

西部体育館にあさかの学園大学の校歌「青春ふたたび・市川昭介作曲」の大合唱が響き渡りました。大応援合戦と声援、助け合って競技に挑む感動の場面、そして席前に掲げられた応援幕。ここ数年のうちで最高に盛り上がりを見せた令和6年度の運動会でした。選手のみなさん全員が主役でした。

忘れてはならないのは、事務局の先生方、ボランティアの高校生そして裏方として大会を支えた実行委員のみなさんです。会場係、審判係、着順係、招集・誘導係など役割を全うしていただきました。心から「お疲れさまでした」と申し上げます。

ハーフタイムで何か企画を！
 学生から寄せられた来年への提案です。

準備運動



選手宣誓



優勝杯返還



役員の皆様



開会式



種目	クラス			研1			研2							
	1A	1B	1C	2A	2B	2C	3A	3B	3C	4A	4B	4C	研1	研2
大玉ころがし	1	1	4	8	10	8	2	10	4	6	1	1	6	2
じゃんけんリレー	6	1	1	2	4	1	10	1	2	4	10	8	6	8
紅白玉入れ	1	6	10	8	8	10	4	6	8	6	6	1	6	4
宝さがし	6	10	4	8	4	6	1	1	10	1	2	2	1	10
総合得点	14	18	19	26	26	25	17	18	24	17	19	12	19	24
順位	7	5	4	1	1	2	6	5	3	6	4	8	4	3



お見事!!



よーい
ドン!!

大玉
ころがし



じゃんけん
リレー



息ピッタリ!?



ナイス
ショット!?

5点!
ヤッター!



紅白
玉入れ



お宝は?

宝
さがし



バンザイ!



ピース!ピース!



勝利の
歓喜



思わず
ハグ🤗



応援席



ガンバレ~



優勝おめでとう!
2A&2B



教養2年 健康・福祉 廣田 紀代子

私達にとって、2回目の運動会です。不安と期待が交錯する、待ちに待った運動会がやって来ました。郡山西部体育館、落ち着いた雰囲気の会場で、希望に胸を膨らませて集合すると、2Aのプラカードの紙が「ヒラ〜」と落ちました。周りの人が「やだ〜縁起悪い」……ちょっと落ち込みました。「大玉ころがし」「じゃんけんゲーム」「玉入れ」「宝ひろい」と競技が進み、手応えを感じました。「歯の詰め物の落し物」など謎の出来事がありましたが、昨年は8位、今年は「優勝」と素晴らしい結果を出す事が出来ました。担任の鈴木先生が、さぞ感動して咽び泣いているかと思いきや冷静でした。来年も同じ顔ぶれで、元気に笑い合えたら最高です。こんな楽しい運動会は初めてです。



教養2年 郷土・生活 藤田 昌宏

運動会参加2年目の6月27日、競技種目は熟知していても、運と緊張感はずすがにぬぐいきれないものがあった。

大玉ころがし、じゃんけんリレー、紅白玉入れと、クラス全員の応援とチームワークで順調に進んだ。いよいよ勝負を左右する宝さがし。結果を待つ間はドキドキの連続、結果は2Aと「同点優勝」。汗と涙で喜びを分かちあった。

反省会では、来年こそは単独優勝を胸に誓いあった。



教養2年 芸術・文化 木村 洋一

「準優勝は…2C。」のアナウンスを聞き、久々のウキウキ感、ワクワク感を味わいました。

手製の応援幕を掲げ、応援グッズ(シャカシャカ)による「フレイフレー2C」、昨年以上の団結力を感じました。と同時に、2Cでよかったと改めて実感しました。

後日の打ち上げ会では、不覚にも記憶を失ってしまった私でした。



あさかの学園大学 運動会 教養2C 芸術・文化学科 「祝・準優勝」 郡山西部体育館 2024年(令和6)6月27日



専門1年 芸術・文化 佐々木 弘樹

人がいない、体力がない、応援備品がない。ナイナイ尽くしでスタートした運動会準備。どうする3C?(大河ドラマ風)競技は1人3役当たり前、ヘタレは気合で乗りきる、裏技と人脈と廃材かき集めて応援備品づくり。でもキモはやっぱり、チームワークに尽きます。結果は、堂々の第3位!すごいな3C。思い返せば1C=7位、2C=5位、そして3位と。次の目標は、当然アレですよ、アレ。(何か話題になったフレーズ)祝杯を夢に。



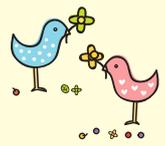
研修2年 安齋 靖則

研修2年は、事前準備は質素でしたが、当日は間違っている優勝の期待をしつつ競技を見届けていました。宝ひろいでの点数発表では、群を抜いての「37点」、応援席は大盛り上がり、どこからカードを持ってきたのか?幸運を引き当て、これが大きな加点となりました。優勝杯は返還となりましたが、堂々の3位!学園最後の運動会での有終の美を飾ることができました。



みんなの広場

日々の暮らしでの発見や感じていること



「命のリレー」

教養一年 健康・福祉

高田 秀子

六月に母が亡くなりました。編物が得意。プロ級の腕前で家族みんなにセーター等を編んでは喜ばれていました。この度相続の手續きの為に原戸籍(はらこせき)を取りました。原戸籍は母の何代も前のご先祖様から祖父母、父母の出生から全ての代の兄弟関係や私達の弟妹の出生迄記されています。

現在生きて居る私達は何代にも渡り命のバトンが受け継がれて来ます。私は三人の子どもから九人の孫に繋がっています。今、私達が幸せに暮らしているのも全てご先祖様の教えのお陰と思ひ、改めて日々を大切に生きて家族の絆と思ひやりに子孫に伝えて行きたいと思ひます。



「ゴルフコンペに初参加して」

教養一年 郷土・生活

齋藤 久雄

「ナイスショット」あさかの学園ゴルフコンペが、6月3日矢吹ヒルズGC(30名参加)・7月1日グリーンアカデミーCC(27名)において開催され、初参加しました。

スコアは見事打ちのめされ散々な結果に終わりました。参加印象は、上級生先輩方が自分のボールをさておき同伴者のボールを懸命になって探す姿を目の当たりにして、この会は競技ばかりでなく、心身の感性を磨く場である事を思い知らされました。楽しく融和溢れるコンペに参加させて頂き次回のコンペが楽しみです。



『犬も歩けば棒に当たる』

教養一年 芸術・文化

伊藤 秋市

先日、三春町の僧侶で芥川賞作家の玄侑宗久さんの講演がありました。演題は、『犬も歩けば棒に当たる』でした。昔からのいろはかるたの一番最初の言葉です。『棒』とは『かごかき』の二人の相棒の事で、良き相棒を探す事が本来の意味だそうです。

翻って『偶然の出会いや情報、とさめきを求めて積極的に尋ね、探歩く事が大事』とお話でした。犬も歩かなければ棒にも当たりません。良き師、友、勉強との新しい出会いと感動を求め、楽しみにして、今日も学園に向かいます。



「再入学をして」

教養一年 健康・福祉

芳賀 妙子

私は再入学生だ。最初の入学をしたのも束の間、義母の介護、コロナ流行により在籍年数はそれなりにあったものの、様々な事を断念。義母の施設入所をきっかけに再度入学を志し今に至っている。環境が変わったせいか今の私は伸び伸びと自由に3度目の青春を楽しんでいる。年齢こそ違うが、人生の甘辛を経験した同級生から沢山の宝物を頂きながら心の財産を増やせている。感謝の気持ちでいっぱいだ。

出会えた仲間達と共に学び健康と幸せを願いながら、そして(ノロケな)応援してくれている夫や家族に感謝しつつこれからも楽しい学園生活を満喫したい。



『初孫誕生』

教養二年 郷土・生活

郡司 陽子

今年の桜の咲く頃に初孫が生まれ、胸を弾ませ会いに行った。予定日より10日以上も遅れで心配していた周りの人達をよそに、小さな寝顔は天使の様に無垢だった。私は信じられない気持ちと、ホッとした気持ちで、娘も一児の母となったのだと改めて感慨深いものが湧きあがってくる。

時々目をあけてこちらを見ているまおちゃん。いつか貴方が大きくなってそして大人になって様々な恋もするでしょう。そんな時、私たちは遠くから貴方の事を見守ってあげたい。そして悲しい時は、あなたを強く抱きしめてあげましょう。

いつでも貴方が安らかでいれる様に。何故なら私たちは、いつでも貴方の味方なのだから。それを忘れないでね、まおちゃん。



『2Cでよかった』

教養二年 芸術・文化

上杉 元明

私達2Cは、(男20、女40)素晴らしい仲間が集まったクラスです。皆何かに挑戦しよう、そして学び、新たな仲間をつくろうと毎回教室に集まるとワイワイ活気があふれてお

ります。昨年の学園祭出し物「恋するフォーチュンクッキー」の踊り練習が思い出に残ってます。テンポの速い踊りで、指導を受け、真似をして毎週練習に励み、ぎこちないですが、本番は、1番目出場でしたが、最高潮に盛り上がり心地よい気分になったことが忘れられません。授業終了後は各仲間であらゆるランチを楽しんでいるようです。

友との出会いに感謝しながら青春再びを満喫したいと切に願います。2Cは、今後

もあさかの学園の一員として希望に満ちた生活を送るクラスです。



今「ハマって」いること

専門一年 健康・福祉

滝沢 洋一

40代当時、職場の同僚に誘われて始めたのが山登り、以来山を求めて30年余り、県内はもちろん県外にも出掛けて山行を楽しんでいます。

山登り、興味のない人は重ザックを背負い、何が楽しいのだろうと思うかも知れませんが、山の魅力は頂上に立った時の達成感なのです。又登山道わきに咲く高山植物を見つけると「よく来たね」を言われているようで思わずホッとした気持ちになります。最近は何のせいか長い尾根歩きの場合、登って来たコースを振り返るとこれまで自分の歩いてきた人生と重ね合わせ感慨に耽ります。そんなことであさかの学園に入学して迷わずウォーキング・登山クラブに入会しました。

クラブに入会し、登山仲間が出来て趣味が同じだと会話も弾み、お互い励まし合い頂上を目指して月1回の例会を楽しんでいます。



『バス通 いま・むかし』

専門一年 郷土・生活

平田 幸一

今私は、パートの仕事(一日4時間)のために、往復3時間のバス通勤をしている。かなりの長旅である。そして気づいた。60年前にも、バス通園していたことを。

場所は、会津盆地西部の山沿い。時代は、東京オリンピックの前の年だ。区間は、停留所二つ分。距離にして3キロほど。料金は、幼稚園児で5円。当然、車掌もいた。

しかし、最も驚くべきことは、子供だけで通園していたことだ。多分車掌さんが、親代わりだったのだと思う。

そして現在。始発から終点まで乗車して、運転手とも、世間話、身の上話をし、困った客にアドバイスするようになった。

そう。私
が車掌である。



「鼻たれ小僧の望み」

専門一年 芸術・文化

大和田 富雄

かの有名な彫刻家の平櫛田中（ひらくしでんちゅう）は、「六十七は鼻たれ小僧 男盛りは百から百から」の名言を残した。

72歳の鼻たれ小僧の私は、今年、書道七段昇格、毎日書道展に3回連続入選、今春「瑞宝小綬章」を受章した。でも、まだまだ道はつづく。

私と同じ書道教室には、隷書体を駆使した大作に取り組む、元気で意欲的な90歳を超えた、百の男盛り一歩手前の大先輩がいる。

その大先輩の書道に向き合う姿勢に、どこか心惹かれるものがある。

私も、ゲンと若返って、百の男盛りに近づきたいと思っている。



念ずれば花開く

専門二年 健康・福祉

武藤 美佐子

生活の中での楽しみにと始めたキルト。完成した作品に満足いかず、もっと深く知りたいと思うようになりました。そんな時出会えた師に一人から学び直し、同事に同じ志を持つ仲間にも出会う事が出来ました。

夢だった「キルト日本展」。キルトを始めた時には無縁のものだと思っていました。いつしかそれが目標になり、挑戦に変わり、作品創り邁進した日々。一次審査が通り、届いた授賞式出席案内の通知、何度も何度も見直しました。やってみようと思わなければ、今回の結果はありませんでした。

「念ずれば花開く」これは私の座右の銘です。勿論、私に関わる全ての人の協力あつての結果だと改めて感謝致しました。

これから
も、自分の
ひらめきを
信じ、楽しく
創作を続けて
いきたいと思います。



今年の西瓜は 皮が黄 中は赤

専門二年 郷土・生活

矢吹 アサ

今朝のメニューは、西瓜の酢の物、小ナス漬、ささぎの胡麻和え、三五八漬にして焼いたトリ肉、夏バテ防止のモロヘイヤとオクラを御飯にのせ、味噌汁はじゃがいもと玉ねぎ、夏の定番になる。彩りにトマトをいっぱい添えて!! 枝豆やトウモロコシは最高のおやつ。

自給自足を目指しているけど失敗ばかりで、色々参考に再挑戦しても結果は一年後だ。

失敗作でも、喜んで味見してくれる友には感謝です。春の春菊から、冬の大根、白菜まで雑草や害虫との戦いが続き、ロコモやフレイルとか、弱音を吐けない日々である。



「運動会」

専門二年 芸術・文化

佐藤 千代子

「4C8位！」運動会の成績発表が有り、隣の友とハイタッチしました。ビリはどのクラスかなと待っていると、どうやら4Cらしく最後になって気づきました。「やっぱりか」とがっかりしてしまいました。

玉入れを少し自主練しておけば良かったなと思いましたが後の祭りです。でも、皆さんが集い励まし合い交流する事は、何とも得難い連帯感が生まれ、あさかの大学に入って良かったとつくづく思いました。

一番に残っているのは、鈴木久先生のホイッスルの響きです。皆さんありがとう感謝です。



「雨の中のウォーク」

研修二年 服部 庄一

コロナも下火となり、普段の生活が戻って来た。二年前、ウォーキングクラブに入部し、最初は6月に行われた、裏磐梯檜原湖畔探勝路ウォークであった。

完歩出来るか不安ではあったが、湖畔から眺める裏磐梯噴火跡の眺望は、新鮮に映り感動した。今年のコースは経路済なので、吊り橋からの絶景や湖畔からの裏磐梯噴火跡の眺望は、いつ見てもすばらしい眺めで木道を進み、あつという間のウォークであった。5月には、国営みちのく杜の湖畔公園（宮城県川崎町）3年目にして、初めての雨の中のウォークとなり、上下雨具を着用し、普段体験できない経験となった。その後遠刈田温泉での昼食・入浴が、なにより癒しとなりました。

健康で長生きするために、これからも仲間と楽しい学園生活を過したいと思います。



毎年、台湾・韓国・インドネシアと交流

研修二年 相馬 武

PHP友の会は、PHP誌や松下幸之助著「道をひらく」の読者が集うボランティア運営の任意団体です。繫榮で平和と幸福な社会をめざし素直な心で学び・交流・社会貢献活動しています。毎年全国各地と台湾・韓国・インドネシアで国際交流会開催し、現地皆様に東北福島県復興・観光物産PR。

昨年はインドネシア訪問、国土は日本の5倍、2.8億人、平均年齢28歳と若く、5人乗りノーヘルバイク通勤、貧富差があるが助け合いで浮浪者少ない。ゴミ少なく笑顔で明るく元気な発展国家。今年台北と台中2回訪問、親日家が多く優しく面倒見が良く、日本語話せる若者が増え、夜市屋台で毎晩交流。



入学式

令和6年度 あさかの学園大学入学式

教養一年 芸術・文化 遠藤賢一

「健康で生きがいのある生活の高揚を図り、積極的な社会参加の契機とする。」を目的に掲げるあさかの学園大学の本年度の入学式は、令和6年4月12日(金)午後2時から、けんしん郡山文化センター大ホールで教養・専門課程529名が参加し盛大に執り行われました。

私たち1年生は、142名という募集定員を大きく超える入学でした。式は、内藤副学長の開式のことばから始まり、富田学長より入学許可と式辞を頂戴し、品川郡山市長のあいさつや佐藤郡山市議会議長から祝辞を賜り、その後、仲野寛学生会会長の歓迎のことば、続いて教養課程1年浜津美香さんの新入生のことばがあり滞りなく閉式となりました。

自分自身の「入学式」は、何十年ぶりの体験でした。式の途中で頭の中が熱くなってくるのがわかり、久しぶりに脳の活性化が感じられました。

郡山市制施行一〇〇周年を迎える記念の年に入学が叶ったことは、大変うれしいことで、自分の心の中に、「明けゆくあさか野希望の汽笛」が高らかに鳴った一日でした。ここをスタートラインに社会に少しでも貢献を考えると次第です。



環境ボランティア実行委員会主催

大安場史跡公園清掃ボランティア

ありがとうございます
ございます

2024年7月6日（土）の早朝！ 無事にボランティア活動が開催されました！
大安場史跡公園に何度も足を運び、前夜の雨が心配だった藤田実行委員長！
受付、軍手、お茶、おにぎりの準備等、環境ボランティアの委員の皆様！

受付



はじめに

草刈り
作業



草集め
作業



参加された皆様
本当にお疲れ様でした。

参加者 **約120名**が
素敵な汗を流しました。



臨地学習

ふれあい科学館見学

教養一年 健康・福祉 村田 英男

八〇年以上昔大阪にプラネタリウムが出来て静岡の片田舎から見学に行ったと、母から聞いた。それを思うと隔世の感がある。

プラネタリウム見学の後の展示ゾーンへ移動の後のムーンジャンプやトリブルスピンへのアトラクションの挑戦風景や各種ディスプレイは丁寧にみると興味をそそられた。

懐かしさを覚えたのは少年科学雑誌『子供の科学』を見つけた事であった。この雑誌は多くのノーベル賞受賞者が子供の頃読んでいた。私も教育ママの母から70年前預けられた雑誌だったのだ。



印象派の魅力にふれて

教養一年 健康・福祉 武田 幸子

新緑の朝、「印象派モネからアメリカへ」臨地学習の為、郡山市立美術館へ出かけた。

館長さんより印象派について、絵の見方などの講義を受けてモネの睡蓮の鑑賞をしたが感動のあまり立ち止まって見入ってしまった。

今までに苦勞して作品にしたのか、私たちに何を訴えているのか無限に広がる思いを抑えきれずもう一度睡蓮の絵の前に行く自分がいた。モネ、ルノワールなどのフランスの印象派にくわえ、ドイツや北欧の作家、実際に活動したサージェント、さらにアメリカの印象派の代表するハッサムの作品に触れることができて貴重な体験をする事が出来た。講義を受けて鑑賞した事で更に学びの多い臨地学習であった。



宿場町郡山を散策して

専門一年 郷土・生活 鈴木 久夫

普段何気なく通っている本町中町大町通りですが、今回の臨地学習で「宿場町郡山」の歴史跡を直接見る知ることが出来て、郡山歴史の理解を深める良い機会となりました。

今までの授業で、郡山宿の代官所跡位置とか幕末の混乱状況などを習いましたが、今回実際に旧奥州街道を歩いて、大河先生から街道石碑・説明書きの紹介を受けたり、宿場町の出入口に置かれた枳形などの説明を聞いたりして、当時の「宿場町郡山」の繁栄ぶりを感じ取ることが出来ました。

大河先生、ご指導ありがとうございました。



臨地学習で感じたこと

専門二年 郷土・生活 石井 孝志

5月23日、開成山公園内及びその周辺に存在する史跡の臨地学習を行いました。いつも晴天に恵まれているのは、普段クラスの行いが良いからか？ 馴染みの日塔とも子先生の明瞭・丁寧な説明により、郡山市所縁の偉人、安積疎水及び入植開拓等の歴史を学び、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

授業を通じ感じたことは、「灯台下暗し」。何故ここに顕彰碑・銅像等が存在しているのか理解できていない。この年になって……。

今後の人生、下を向くのは足元転倒注意！上を向いて歩こう。そして周りを見る余裕を持つこと。私達の周りには宝物がいっぱい眠っています。まだ遅くはありません。新たな発見を目指し、学園生活を楽しみましょう！！



みんなの 文芸

短歌

かりんの枝夏陽を浴びて天を衝く
八十路の身には眩しいばかり

(1C) 鈴木 輝久

ここにきて気軽に話せる友を得て

心に栄養パワーチャージ

(2C) 上野 悦子

つゆの草取っても取ってもまた生える

おにごっこ見て庭木も笑う

(3C) 佐藤 永世

いちぢくは何故無花果と尋ねれば

花が実よとティッシュ振る母

(4C) 藤田 晃

絵画展引き込まれゆく技と力

君の絵にこそ彩の優しさ

(研1) 佐伯 秋

転勤でふるさと離れし数十年

ふたたび帰ることなし墓じまい

(研2) 工藤 光一

俳句

さよならを今なら言へる木の実落つ

(1A) 伊藤 大子

花火みて歓声上がるふるさとや

(2A) 熊倉 則子

飼猫の思い出惚ぶ春の夜

(3A) 村越 孝一

五月晴れ優勝だよと歯を研く

(4A) 大桃 義勝

落花後の天に鉾突くオクラかな

(研1) 橋本 秀雄

新札の顔凜として炎天下

(研2) 泉田ひろみ

川柳

いばる客良いサービスは受けられない

(1A) 居酒屋バイト

新入生心も頭もピッカピカ

(1B) ランドセル

運動会はりきり過ぎてシッブする

(2B) 佐久間喜代江

目が覚める時計を見れば午前4時

(3B) 根本 清州

買い物リストを書いたメモ忘れ

(4B) 縫 洋子

実は今大学・主婦の二刀流

(研1) 長尾久美子

日新館友等の顔がタイムスリップ

(研2) 高橋 三枝

編集後記

3B 平田 幸一

会報「あさかの」が、60号を迎えた。人間という還暦とでもいうべきか。毎年、2号ずつ発行されているようなので、初号は30年前だと思われる。

あさかの学園大学が、36年前に開学し、その6年後に「学生会」が発足したので、この会報「あさかの」も、「学生会」とともに、歩んできたことになる。

還暦での一回りに、初心に戻ったつもりで、編集にあたった。また、会報はほぼ、「文章」と「写真」で構成されると考え、「写真撮影」に関して、かなりの人的投入を行った。

昨今騒がれるSNSでの「無記名誹謗中傷」など決してない皆様には、あたたかい目で観ていただき、ご意見くだされば編集部一同のさらに励みとなります。

令和6年度 学生会総会の実施

学生会会長 仲野 寛

5月11日、大会議室において、会則に従い令和6年度学生会総会が開催されました（審議者出席率89%）。学園事務局生江所長、研修コース委員長2名を来賓にお迎えしご挨拶を頂きました。

議長に國分尚美副会長を選任し、学則に従い理事会で決定した会長、副会長、総務及び会計理事を報告、承認を得ました。また、各実行委員会役員及び監事についても指名・提案を行い、承認を得ました。昨年度事業報告及び収支決算報告書及び本年度事業計画及び収支予算書（案）の報告・提案を行い、承認を得ました。審議者より3件の質問が有り、会長より答弁し了解を得ました。

既に各実行委員会が活動しております。皆さん「無理、できない、やれない」ではなく、「とりあえず参加する、できるところからやる、皆で一緒に楽しむ」の気持ちで各行事の参加率をあげましょう。

